

「ASSERT the Mic / 声の置き場所」

Yeah

違う地図 同じフロア

声の数だけ 仕事がある

分析より先に 人を見ろ

対話がなきゃ 始まらないプロジェクト

丸くなった椅子 近すぎる距離

沈黙の方が 先に喋り

正解探して 口を閉ざし

ノートの端で 揺れる意志

声デカい＝リーダー それ短絡

黙る人ほど 思考は深く暗黙

誰かの言葉 風みたいに抜け

掴めない意味だけ 胸に残ってく



Assert it

押し付けない主張

Respect it

奪わない居場所

I message

「私はこう思う」

その一言が 空気を変える構造

Assert it

戦わない強さ

Listen

最後までが作法

対話は武器じゃない

信頼を組み上げる 設計図だろ

理解するって 正解じゃない

耳を澄ますって 選択肢だ

良いか悪いか 切る前に

どこが揺れてるか 見る視点
分析は冷たい？ 違う
近づくための 地図になる
感情はノイズじゃなくデータ
除外した瞬間 チームは鈍化

Assert it

感情も含めて

But control

相手は責めねえ

主語を変えるだけで

摩擦は減って 前に進める

Assert it

Yes も No も同価値

違いは弱さじゃない 地図の話

対話のリズムが合った時

組織は箱から Crew に変わる

否定もしない

飲み込まれもしない

言葉と 言葉の

あいだに立つ

沈黙もメッセージ

強い言葉も SOS

聞く覚悟がなきゃ

会話はただのノイズ

主体的に話すって 声量じゃない

この場を信じて 出すサイン

ミラーリング うなずく理由

知らなかった世界が 増えていく

衝突しそうな言葉の角

少し丸めて 手渡す技術

勝つためじゃなく 続けるため

今日の会話が 明日を作るベース

Assert it

Mic を回せ

全員に 語れるスペース

正しさより 届く温度

それが信頼の 残る強度

Assert it

ひとりじゃない

自信は 響いた後に残る

対話が続く限り

チームは前に 進める

Yeah

声の置き場所

今日も探してる

分析と共感の交差点

そこで仕事は 動き出す

Yeah

次の勇気に なってく

未完成でも センターだよ

今ここに立つ 理由がある

キラキラ裏の 必死さも

丸ごと愛して ほしいだけ

終わったあとで 思い出して

「なんかよかった」って それでいい

五人でひとつの

成長中アイドル

以上

「キャリア・ベーシックⅢ〈関係構築〉」(2025 年度後期履修生によるもの)